

くずは

2022. 8. 10
発行 くずはの家
〒257-0031 秦野市曾屋 1137
TEL&FAX 0463(84)7874

今月の話題「ウスバキトンボ」

くずはの広場や自宅周辺でも、8月の中頃になると赤とんぼにしてはやや色の薄い黄色っぽいトンボが、上空を群れをなして飛ぶようになります。このトンボはちょうどお盆の時期に大群が現れるので、別名「精霊とんぼ」とか「盆とんぼ」と呼ばれる「ウスバキトンボ」と言うトンボです。私は言われたことはなかったのですが、「ご先祖様の使い」なので捕らないようにと言う地方もあるそうです。

普段は見る事がなく、この時期にだけ現れるウスバキトンボはどのような生活史をおくっているのでしょうか。

ウスバキトンボは“渡り”（長距離の移動）をするトンボとして有名です。ただし、この渡りは片道切符で、帰りがありません。

春、東南アジアや中国大陸、沖縄地方で発生したウスバキトンボは、幅広の翅(はね)で風を捕らえ、グライダーのように長時間、長距離を移動し、九州や四国に達します。このトンボは普通の赤とんぼなどと比べ、産卵数が圧倒的に多く、しかも、成長が早いため、卵から1ヶ月ほどで成虫になるそうです。水田やちよつとした水たまりでも、1ヶ月間水が枯れなければそこで成虫が生まれ、世代交代を繰り返しながら北へ向かってどんどん分布を広げて行きます。

ところが秋になり気温が下がって、水温が4℃以下になると幼虫(やご)は死滅してしまいます。北に分布を広げていっても、日本の冬を越せずに全て死滅してしまい、西南諸島を除く日本列島には定着できないト

ンボなのです。このように折角分布を広げていっても、最終的に分布を広げることができない、繁殖に寄与しない分布の拡大を、「無効分散」と言います。

熱帯の海に住むスズメダイやチョウチョウウオなどの熱帯魚や、ギンガメアジやロウニンアジなど、成魚になると1mを超える大きさになるヒラアジ類の幼魚は、夏、黒潮に乗って日本の沿岸にやってきます。これらの魚も成魚にはなれず、繁殖に寄与しない無効分散なのですが、魚の場合はこれを「死滅回遊」とも呼びます。

無効分散(死滅回遊)は生き物にとって、全く無駄なことのようですが、万が一、環境が変わり、生き残って繁殖できる環境が出現することに備えて、広く“種”を撒いておく、生物のパイオニアとしての特性だと考えられます。昨今、地球規模で温暖化が進み、環境が激変しつつあります。今まで、秦野盆地内では冬の寒さのために幼虫が成育できないとされ、繁殖が確認されなかったクマゼミですが、今年、くずはの家で抜け殻が発見され、繁殖していることが確認されました。

今はお盆の時期しか現れないウスバキトンボですが、そのうち一年中見られるようになったら、どうしましょう。ウスバキトンボについては、NHK「ダーウィンが来た！」HPでも紹介されている調査プロジェクトで現在全国的に調査が行われています。くずはの家でもこの調査に協力しています。

文：くずはの広場所長 高橋孝洋



ウスバキトンボ

行事報告



7/23 そうだったのか！モグラ君(17人)

・実際のモグラの巣を探す作業が親子で楽しめました。こんなにモグラが身近にいるとは知らなかったです。
・木の下や土の軟らかい場所にモグラの通路があるなんてびっくりしました。



7/24 親子で水遊び～竹の水でっぽうつくり～(22人)

・竹の水でっぽうを作るとき難しかったけど、川に行ったときは楽しかったので家でやってみたいです。
・昔ながらの水鉄砲で遊んだことはあっても作った事はなくて貴重な体験でした。



くずはの家 行事案内

昼の行事：小学2年生以下は保護者同伴 夜の行事：小学生以下は保護者同伴

日時	テーマ・場所・講師	対象・定員	受付開始
9月24日(土) 9:30~11:30	水生生物観察会 ～川の中の忍者を探せ～ えのきの会水辺分科会	小学生以上 16名	9月1日
10月1日(土) 18:00~20:00	秋の星空教室(会場:南ヶ丘公民館) くずはの広場所長	小学生以上 20名	南ヶ丘公民館 に問合せ 0463-84-6411
10月9日(日) 10:00~14:30	きのこウォッシング～身近なきのこ入門～ 神奈川キノコの会会員 井上幸子氏	小学生以上 20名	9月15日



←7/28 葉っぱのたたく染めに挑戦!(17人)

・葉っぱによって違う色ができてきれいでした。身近な葉が、こんなにきれいになるとは思わなかったのので、新たな発見をしました。
・トンカチで打ったり、ミョウバンをつけたりするとき、楽しかったりワクワクしました。色んな事を細かくおしえてもらったので、わからないことがききやすかったです。



←7/30 土の中の生き物さがし(12人)

・すくった土の中にいろいろな生きものがいて、それらを拡大して細かく観察できて良かったです。モグラの穴の様子も見れて良かったです。



←7/30 セミの羽化観察(17人)

・羽化が始まる前のセミを初めて触りました。なんともふしぎな体験をすることができてよかったです。

行事へのお申し込み・お問い合わせは 電話・FAX・メールで

TEL&FAX 0463(84)7874
E-mail, kuzuhaie@city.hadano.kanagawa.jp

8月の休館日

1日、8日、12日、15日、22日、29日

9月の休館日

5日、12日、20日、21日、26日、27日

<http://www.city.hadano.kanagawa.jp/>

秦野市のHPの公共施設案内にくずはの家HPがあります!

秦野ガス・ネイチャーパークくずは

くずはの家のボランティア活動

☆7月の活動

定例会:7/3(日)セブンイレブン財団の助成金を受けて購入した薪割り機を本格的に使用して薪割りを行いました。すごいパワーで、太い丸太もどんどん割ることができ、あっという間に薪棚がいっぱいになりました。ハイパワーではあっても使用は簡単、これからは全員が使えるようになることが目標です!

7/21(木)は、くずはの家周りの草取りをしました。レンガ道や砂利の中、池の周りや駐車場など、暑くなると草がどんどん生えてきます。大変な作業ですが、働き者のメンバーのおかげで、散策路がきれいに保たれています。

花壇の会:7/8(金)花壇の整備を行いました。

とんぼのせせらぎ:7月はお休みしました。

☆これからの活動

定例会:8月は2回お休みして、8/28(日)に9月の1回目を振り替えて実施します。

9/15(木)、10/2(日)、10/20(木)

花壇の会:8月はお休みします。9/2(金)、10/7(金)

とんぼのせせらぎ:8/25(木)

くずはの広場観察路マップ

2022年8月1日調べ

①～⑬には観察板があります。
回ってみましょう！

凡例

△	つぼみ
▲	咲き始め
○	開花
◎	満開
●	咲き終わり
◇	実
◆	熟した実



7月の野鳥

(6月28日～8月1日調べ)

1. キジバト
2. カワセミ
3. コゲラ
4. アオゲラ
5. チョウゲンボウ
6. オナガ
7. ハシボソガラス
8. ハシブトガラス
9. ヤマガラ
10. シジュウカラ
11. ツバメ
12. ヒヨドリ
13. ウグイス
14. エナガ
15. メジロ
16. ムクドリ
17. コムクドリ
18. キビタキ
19. スズメ
20. キセキレイ
21. セグロセキレイ
22. カワラヒワ
23. コジュケイ
24. ガビチョウ

ピックアップ

7月の昆虫

カブトムシの仲間

- カブトムシ
- ノギリクワガタ
- カナブン
- クロカナブン
- クロコガネ
- コフキコガネ
- ドウガネブイブイ
- アオドウガネ
- アオハナムグリ
- コアオハナムグリ
- ウスバカミキリ
- ノギリカミキリ
- ナガゴマフカミキリ
- ルリボシカミキリ
- ヤマトタマムシ
- キマワリ
- オオヒラタシデムシ
- アオオサムシ

チョウ・ガの仲間

- ジャコウアゲハ
- モンキアゲハ
- クロアゲハ
- オナガアゲハ
- ナミアゲハ
- アオスジアゲハ

オオムラサキ(飼育)

- アカボシゴマダラ
- サトキマダラヒカゲ
- クロノマチョウ
- イチモンジチョウ
- コムスジ
- コジャノメ
- ルリシジミ
- ムラサキシジミ
- ウラギンシジミ

トンボの仲間

- コチャバネセセリ
- ダイヨウセセリ
- シンジュサン幼虫
- アカクビナガハムシ
- ウスキツバメエダシヤク
- ツマジロエダシヤク

バッタの仲間

- ショウリョウバッタ
- オンブバッタ
- ヤマトフキバッタ
- エゾツユムシ
- ハヤシノウマオイ
- ヤブキリ
- コロギス

カメムシの仲間

- モンクロサシガメ
- オオクチブトカメムシ
- キバラヘリカメムシ
- ホシハラビロヘリカメムシ
- エビイロカメムシ
- イシハラナガカメムシ
- ツチカメムシ
- マルアワフキ
- ベッコウハゴロモ
- テングスケバ
- アカハネナガウンカ

ハチ・アブの仲間

- オオスズメバチ
- キイロスズメバチ
- キアシナガバチ
- キボシアシナガバチ
- キムネクマバチ
- オオフタオビドロバチ
- オオモンクロクモバチ
- シオヤアブ

その他の仲間

- ウスバカゲロウ
- チャタテムシの仲間群れ



シンジュサンの幼虫

くずはの広場ピックアップ

コクラン初記録…7月3日
緑地の中の秘密の場所で、コクランが咲きました。葉っぱだけ見つかり何かな？と想像していましたが花が咲いてついに判明！葛葉緑地初記録です。

シンジュサン幼虫…7月中旬
小さなサンショウの木で6年ぶりに幼虫を発見。すでに大きく育っていました。無事成虫になるのが楽しみです。

クマゼミの繁殖確認…7月26日
毎年鳴いているクマゼミが繁殖しているのでは…と目を光らせていたところ、とうとう抜け殻が見つかり、くずはの広場での繁殖が確認されました。ちなみに今年のゼミの初鳴きは、ニイニイゼミ(6/27)、ヒグラシ(7/12)、ミンミンゼミ(7/16)、アブラゼミ(7/17)、クマゼミ(7/18)、ツクツクボウシ(7/27)でした。